

(令和2年6月試験研究業務月報)

試験研究課題：タスクチーム活動

「阿蘇海で発生するアサリ稚貝の有効利用技術の普及」

情報

久美浜湾でのアサリ養殖指導

阿蘇海では毎年春先から7月頃にかけて1cm程度のアサリ稚貝が大量発生しますが、8月頃にはいなくなってしまう。この稚貝を有効利用するため、タスクチーム活動として採集方法や販売方法を漁業者に指導しています。

この稚貝を用いて、昨年から久美浜湾でアサリ養殖を始められた漁業者に対して、養殖・管理方法や出荷に関するアドバイスをに行ってきました。

この度、約1年間の養殖で4.5cmを越える大型のアサリに成長したことが確認されました。また、この養殖アサリを京都府漁協舞鶴市場に出荷したところ、1,800円/kg^{*}の高値で販売できました。今回の事例は、全国的にアサリ資源が減少している中、府内産の稚貝を用いて1年間の養殖で大型サイズを作る新しいビジネスモデルとして期待されます。

当センターでは今後もデータの収集や養殖方法の指導などを行い、漁業者を支援していきます。

※全国的なアサリの市場出荷価格は500~1,000円/kg



一般的な
大粒アサリ
(約4.2cm)

久美浜湾で育
てたアサリ
(約4.8cm)



養殖アサリは身も
パンパンに詰まっ
ている。



出荷用アサリを持つ漁業者